

防災教育チャレンジプラン

障がいを持つ子のための 楽しく学ぶ防災教育

一般社団法人 **PORO**

2014.2.22

一般社団法人 **PORO**

プランの内容

発達障がい、自閉症、知的障がいを中心に、周囲から障がいがあることを理解されにくいお子さんの**自助能力向上と教育方法の普及**を目指した防災教育実践

課題

聴覚過敏で非常ベルの音に拒否反応を示す

ルールが理解できない

急な変更に対応できない

災害の**写真や映像**で心身に悪影響が表れやすい

障がい者の防災は**支援者向けの実践が中心**である

一般社団法人 **PORO**

2014年度の活動内容

8月9日 障がい者支援施設
(堺市内)ワークショップ90分
小学生9名中学生2名
発達障がい・知的障がい



8月23日放課後等デイサービス
(堺市内)ワークショップ90分
小学生2名中学生2名高校生2名
発達障がい・軽度・重度知的障がい・肢体不自由



一般社団法人 **PORO**

2014年度の活動内容

9月13日安全教育学会(宮城)
ワークショップでの教育実践報告



9月20日親子で学ぶ防災力セミナー
クレオ北大阪120分
軽度発達障がいのお子さんを含む
8名参加



一般社団法人 **PORO**

2014年度の活動内容

9月28日 支援者向けワークショップ
(堺市内)90分
子どもの支援に携わる支援者7名
意見交換＋支援方法の助言



10月23日すみよしまつり
(大阪市住吉区)
一般向け防災ワークショップ
来場者約2万人
ブース参加者40名程度



一般社団法人 **PORO**

2014年度の活動内容

11月22日 障がい者支援施設
(堺市内)ワークショップ90分
小学生5名中学生1名
発達障がい・軽度知的障がい



12月17日世田谷小学校
(世田谷区)出前授業40分×3回
1～6年生計28名
発達障がい・軽度知的障がい



一般社団法人 **PORO**

実践方法：必要な配慮

- **見通し**が立つようにする
(見通し表の配布、事前説明、張り紙、時計等)
- **音過敏・におい過敏**等への配慮
(例：大きな声でしゃべらないように心がける)
- カードや画用紙等を使った文字による指示等、音声による呼びかけに加え**複数の視覚的な伝達手段**

実践方法：役割分担

- **役割分担**を決めておく
 - ①プログラム進行役
 - ②子ども対応のファシリテーター
(子どもに発言を促す、共感する係)
 - ③パニック発生時の寄り添い役
(逃避行動やパニックを
起こした際に声かけをする)



実践方法：準備

- **アセスメント**(お子さんの状態の評価)をする
 - ・事前アセスメント
障がいの特性だけではなく好きなもの
落ち着ける行動を聞いておく
 - ・当日のアセスメント
 - ①保護者から様子(機嫌、体調など)を聞く
 - ②イベント前に声掛け(アイスブレイク)をして
特徴を捉えておく

実践方法：きまりの説明

事前の説明、趣旨や開始・終了時刻、
発言のきまりの説明をする

- 今からじしんについてのお話をします
- 2時になるまで席に座ってお話を聞きます
- 何かお話したい時はうちわを持って話します
- 他の人がうちわをもって話しているときは注目してお話を聞きます
- つらくなったときは休憩場所に行ってもいいです、
など

実践方法：発言のきまりの説明

◆発言者マーク

(発言する子が持つもの、今回の実践では輪っかやうちわを使用)
誰の話を受けばいいか視覚的に理解しやすくなる



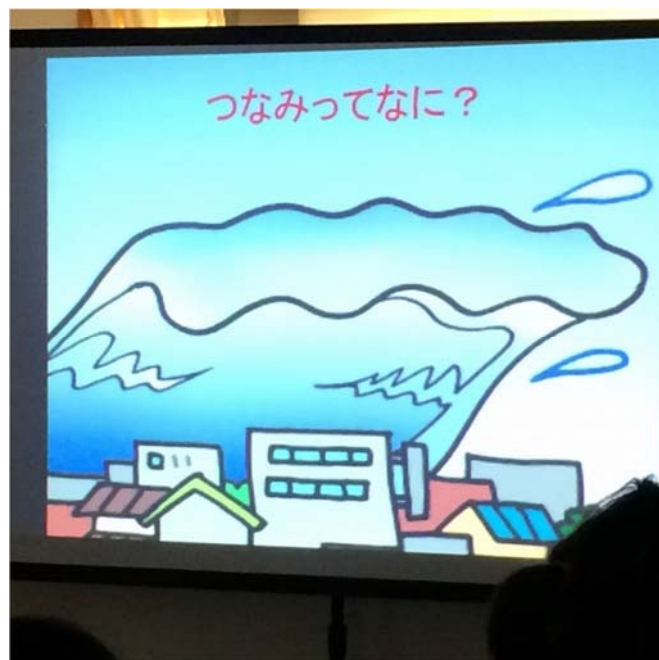
パニック発生時

- 寄り添い役が声掛けをし、
必要に応じて**コーピンググッズ**を与える
(お絵かきが好きな子には
紙とペンやぬりえをわたすなど)



- その場での参加が難しい場合は、落ち着ける
場所に誘導し、そこで寄り添い役の支援者と
共にお話しをする

学習の流れ: パワーポイントによる 視覚情報の提示



一般社団法人 **PORO**

安全行動に関する練習

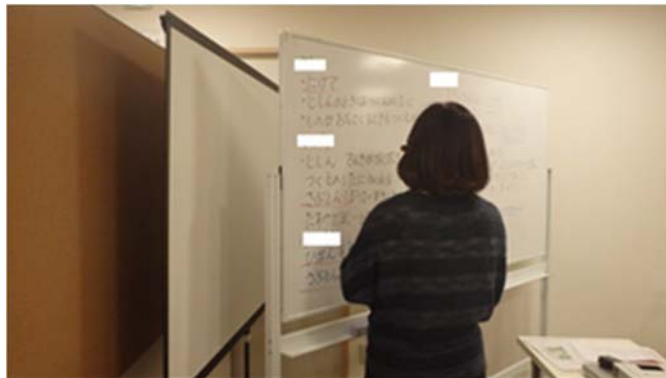


頭を守る練習
「たすけて」を伝える練習
非常口に向かう練習

一般社団法人 **PORO**

振り返り学習で気づきをまとめる

- イベントを通して気づいたこと、印象に残ったことを挙げてもらいホワイトボードにまとめ、**気づきの共有化**を図った
- (共通のキーワードには下線を引く)



一般社団法人 **PORO**

学習の流れ

- パワーポイントによる**知識学習**
→**行動学習**
→振り返りによる**気づきの共有化**



知識



行動



気づき



一般社団法人 **PORO**

実践方法: その他の視覚支援

- 避難経路に色紙を貼って目印にする



まとめ

- 事前の**アセスメント**がきわめて重要であった
- 子どもの意見を引き出す係、
パニックを起こした時の寄り添い役など
役割分担が重要であった
- **視覚支援、聴覚過敏への配慮**によって
通常の防災学習に参加できないお子さんも
参加が可能となった